

自社の強みを生かし、変化を起こす企業へ！ 11社の“チーム”と“商品”づくり

栃木県では、コロナ禍やDX等、社会経済情勢の激変する環境においても、自らを改善し成長し続ける企業を育成するためのプログラムを実施しました。

共に変革するチームを作る組織風土改革、会社の誇る一品（商品・サービス）の革新、効果的なITの導入による生産性向上をテーマに支援機関と共にプログラムに取り組んだサービス産業事業者のみなさんの、変化の軌跡や今後の挑戦をご紹介します。あなたの仕事のヒントもきっと見つかります！ぜひ、ご参加ください。

日時 令和4年2月2日（水） 13:00～16:00

スケジュール 13:00～ 事業概要の説明
13:30～ プログラム参加企業11社による成果発表
15:30～ ミニ・ディスカッション

場所 ニューみくら207会議室(定員160名)
〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-6

- ※リアル開催 & 動画配信
- ※参加無料、事前申込み必要
- ※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法に変更が生じる場合があります。

【参加申込】FAX:028-623-3340

お申込み
お待ち
しています！

事業所名	所在地
お名前	ご連絡先
メールアドレス	



お申し込みはこちら
または、FAX
E-mailで

お問合せ 栃木県経営支援課商業活性化担当
TEL : 028-623-3175 E-mail : syougyou@pref.tochigi.lg.jp

チームイノベーション実践プログラムとは？

■ 持続的に成長し続ける企業になるために・・・

- ・自社の強みを再認識し、強みと環境の変化を踏まえた一品の変革
- ・一品の変革を推進する社内チーム力の向上
- ・仕事の効率を上げ、一品の価値を上げる効果的なITの導入
- ・企業に寄り添い支援する商工団体の役割がポイントであると考えました。

チーム変革のプロ支援のもと、集合型ワークショップ（全8回）や各社に出向いて社内チームの行動変容を進める現地伴走支援（月1回）により、商工団体の経営指導員と共に各社の変革を支援しています。

プログラムの取組は「経営革新計画」としてアウトプットし、変革を推進する組織風土と商工団体の伴走支援により、プログラム終了後も各社の成長は続きます。

集合型ワークショップ



一品の革新と生産性向上を異業種交流型で考えます。普段関わりのない他業種との交流から、新たな気づきを得られ、自社の次の一手が見えてきます。プログラムの成果を最大化する秘訣は、経営者層と従業員と一緒にワークショップに参加することです。

現地伴走支援



各社に出向き、一品を軸にワークショップで得た気づきや、新たな取組みを具現化します。ワークショップ参加者に社内チームのメンバーを加え、確かなチーム力を醸成します。

IT活用講座



ITにできることとできないこと、他社の事例を学び、自社の課題をもとにIT活用のイメージを作ります。終了時には、IT導入計画に基づきIT業者と打合せができる状態を目指します。

〈令和3年度プログラム参加企業〉

■ 企業名

WinGraffiti(株)
(株)オニックスジャパン
(株)グリーンデイズ
(株)小林縫製工業
(株)サカエ工業
(株)嶋田屋本店
砂川印刷(株)
栃木グランドホテル(株)
(株)トレンド
(株)PROPRE
(株)ネイティブ

■ 主な事業

養鶏、福祉
製麺
農産品販売
女性下着製造
プラスチック製造
酒卸売
印刷
宿泊
葬儀、配食
キャンドル教室
バイク販売、ホビー

■ テーマ

たまごづくりは人づくり
新工場建設と生産性向上
部門の垣根を越えた新商品の開発
自社商品開発による下請け企業からの脱却
自社ブランド商品の開発と販路拡大
「酒は嶋田屋」から「なんでも嶋田屋」へ
新商品開発に伴うチームビルディング
ファミリーミーティングを通しての一品開発
IT活用による業務の効率化、顧客満足度向上
リモートキャンドル教室、新商品による新規顧客獲得
社員一丸で行う入門者向け商品・サービスの革新